

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 3 日作成)

小委員会名	キャンパス計画小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画本委員会	
設置期間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・設置目的:(1)高度情報化等、社会の変化を背景としたキャンパス計画の都市計画上の位置づけ及びその戦略と変遷を明らかにする。(2)国内外におけるキャンパス計画の情報収集を行い、今後の整備方向の明確化を行う。(3)次世代におけるキャンパス像を明らかにする。</p> <p>・06年度:小委員会主催による中国、韓国等の調査を行い、アジアにおける大学と都市の視点およびその方向性に関する資料収集を行う。</p> <p>・07-08年度:調査結果に関する分析とこれまでの小委員会での成果をもとに、シンポジウムを開催し、典型的な大学についてのケーススタディなどによって、大学キャンパスと地域社会の連携に関する委員会活動を広くアピールする。</p> <p>・キャンパス計画小委員会主催情報交流セミナー(第8-11回)を開催する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無:有</p> <p>主査 小林英嗣(北海道大学) 幹事 小篠隆生(北海道大学) 幹事 坂井猛(九州大学) 有賀隆(早稲田大学) 上野武(千葉大学) 円満隆平(金沢工業大学) 尾崎健夫(早稲田大学) 岸田省吾(東京大学) 倉田直道(工学院大学) 小松尚(名古屋大学) 斎尾直子(筑波大学) 鶴崎直樹(九州大学) 長澤護(文部科学省) 三島伸雄(佐賀大学)</p>	
設置WG (WG名:目的)	<p>(1)キャンパスと都市・地域WGを中心として、都市計画論、地域経営論からの視点、都市再生施策、施設整備計画の視点等から、これまで構築してきた各大学の抱える資源、課題、計画主体、組織などのデータベースをさらに充実させる。</p> <p>(2)キャンパスの計画と戦略WGを中心として、地域・都市における大学キャンパスの環境の水準と環境を形成する施設マネジメントの方策を明らかにする。</p> <p>(3)連携支援WGを中心として、大学と地域の連携協働による都市再生の具体的な事例がどのように展開しているかを追跡調査し把握する。</p>	
2006 年度予算	430,000 円	<p>ホームページ公開の有無:有</p> <p>委員会 HP アドレス: http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s1/</p>

項目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>1.(名称)小委員会主催情報交流セミナー(第9回) 参加者数 47 名 (資料名)なし</p> <p>2.(名称)OS 都市と大学の連携による都市・地域の再生 参加者数 24 名 (資料名)大会梗概集</p> <p>3.(名称)知的創造拠点としての大学キャンパスと地域との連携 (資料名)なし 参加者数 60 名</p>
大会研究集会	<p>1.(名称)PD 都市と大学の連携による都市・地域の再生 参加者数 45 名 (資料名)都市と大学の連携による都市・地域の再生</p>
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 催し物では、当初目的を達したものと考えます。 2. 大会研究集会では、当初目的を達したものと考えます。 3. 小委員会主催による調査では、英国高等教育財政カウンスル等との意見交換および英国4大学調査を実施、さらに、小委員会によるソウル合宿を行い、韓国教育院担当者との意見交換を行うなど、人的交流を深めるなどの成果を得た。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. これまでの中国、韓国等のアジアにおけるキャンパス担当者との情報交流をふまえたキャンパスと都市の連携に関する調査実施。 2. 住民、自治体、大学、企業など様々な主体が関わるまちづくりのシステムやプログラムに関する提案。 3. これまでの調査研究活動を総括した「キャンパスマネジメント・ハンドブック2007」の刊行。</p>
<p>その他</p>	